

アルクレア専用電気錠

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①錠セット

名 称	員 数	
	片 錠	両 錠
片錠取付セット	1	—
両錠取付セット	—	1
キー	3	3
受け(ストライク)セット	1	1
門柱カバー-A(色付)	1	—
ヒンジ	2	4
ヒンジ裏板	2	4
ヒンジキャップ	2	4
ヒンジカバー	2	4
落し棒受け	1	3
1コ用スイッチボックス(通電金具用)	1	1
1コ用スイッチボックス(防滴プレート用)	1	1
防滴プレート	1	1

名 称	員 数	
	片 錠	両 錠
施解錠操作押ボタン	1	1
ビス セット	ヒンジ取付ビス M4×10トラス	8
	戸当り取付ビス φ4×10トラス※	5
	スリーブ	4
取扱説明書	1	1

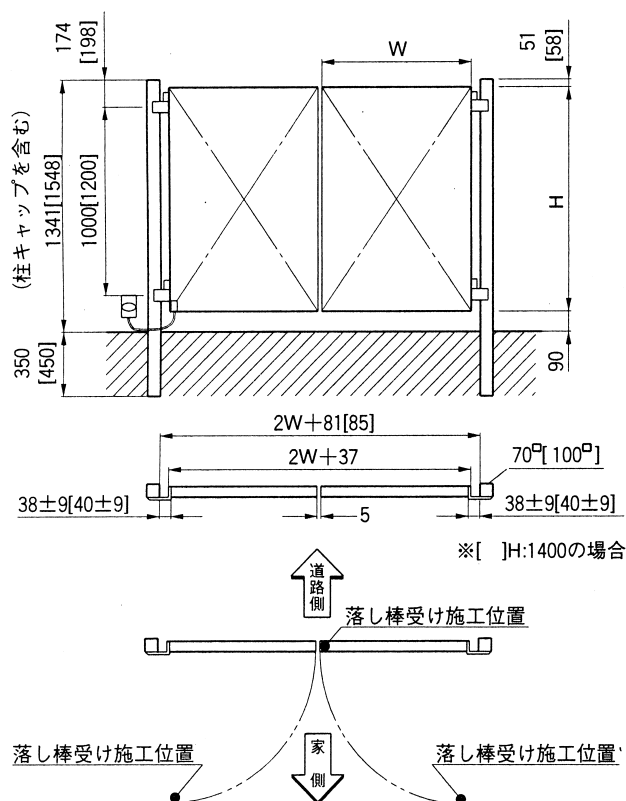
※両錠の戸当り取付ビスのうち1コは孔かくしビスとして使用します。

②片錠・外開き部品セット

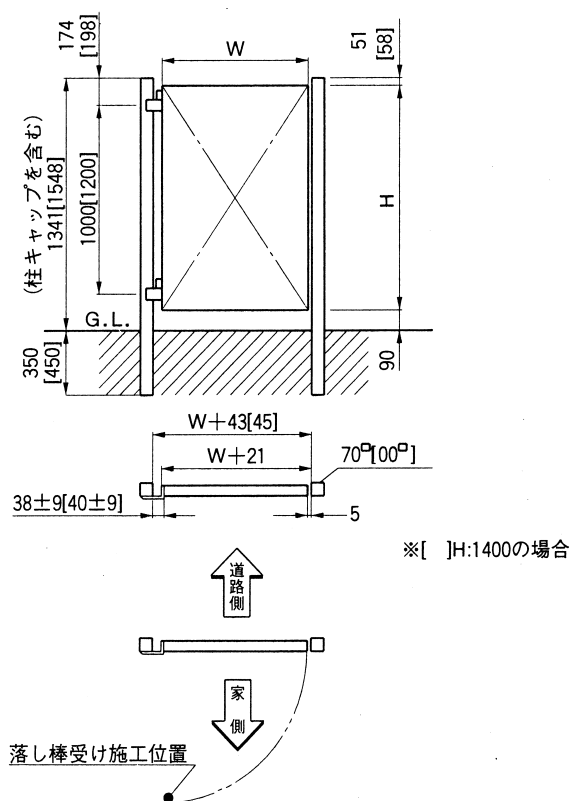
名 称	員 数
片外用ストライク	1
戸当り	1
裏板	1
戸当り取付ビス M5×10ナベ	2

1. 施工寸法

1-1 両開き



1-2 片開き



2. 錠本体の組付と勝手の変更

2-1 錠本体の組付け

- 扉本体の孔かくし板を取りはずした後、錠本体をM4×10⊕サラネジで組付けて下さい。
(孔かくし板は使用しません。)

2-2 勝手変更方法

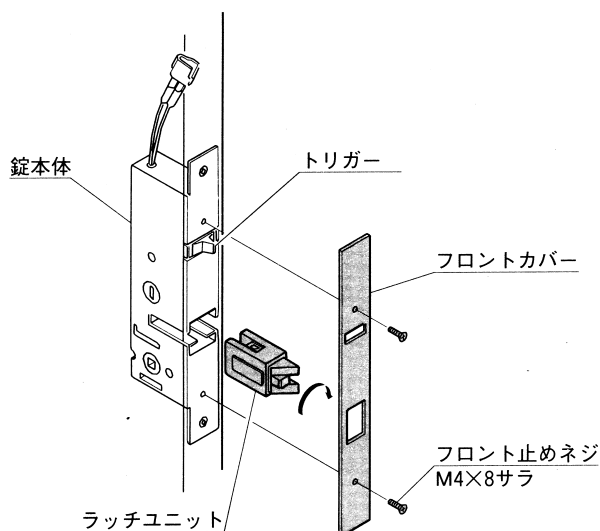
本セットは、右勝手・内開き用になっています。扉の開きが下図の様に外開きの場合には、下記の勝手変更表に従って錠本体の勝手およびストライクの勝手を変更して組付けて下さい。

下の表に従って、勝手を変更して下さい。

扉の勝手 (図は扉を上から見た図です)	勝手変更
右勝手外開き	下記(A)・(B)に従って、勝手を変更して下さい。
左勝手外開き	下記(A)・(B)に従って、勝手を変更して下さい。

※外開きで180° 開けたい場合は柱の裏面を道路側に施工して下さい。

(A) 錠本体の組付け・変更



- フロント止めネジ(M4×8⊕サラ)をゆるめ、フロントカバーをはずして下さい。

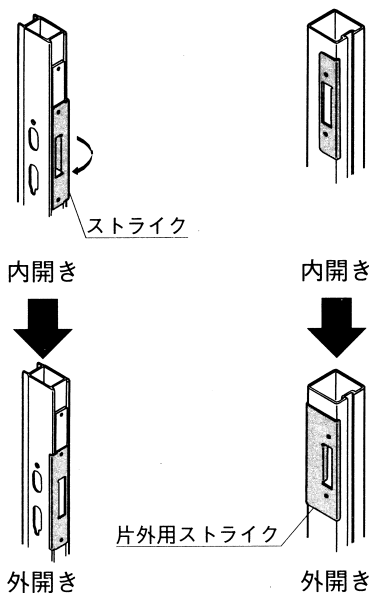
<注 意>

- ラッチを落とさない様に注意して下さい。
- ❶ラッチを抜き取り、開きを変えて差し込んで下さい。
- ❷再びフロントカバーを取付けて下さい。

(B) ストライクの組付け・変更

両開きの場合

片開きの場合

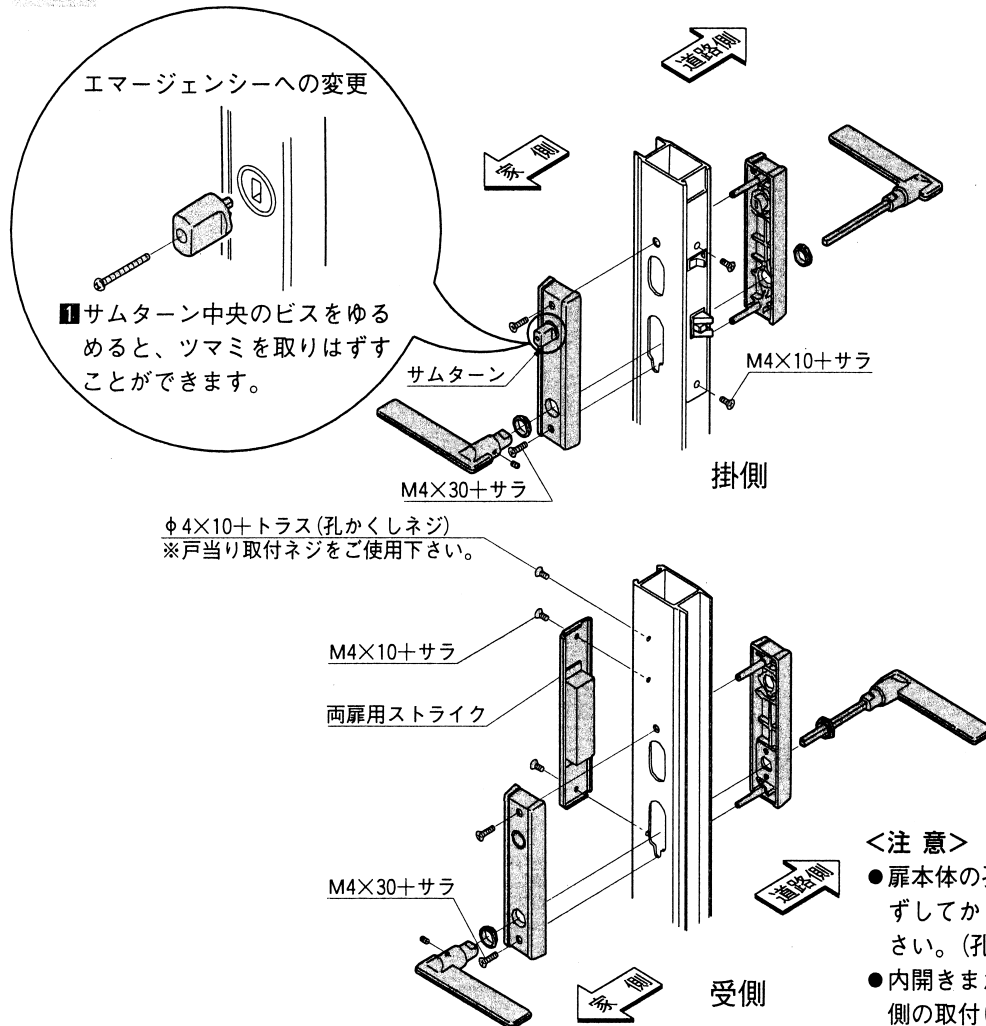


- ❶両開きの場合は、ストライクを180°回転させて、開きを合わせて下さい。

- ❶片開きの場合は、片外用ストライクに付け変えて下さい。

3.錠の取付け

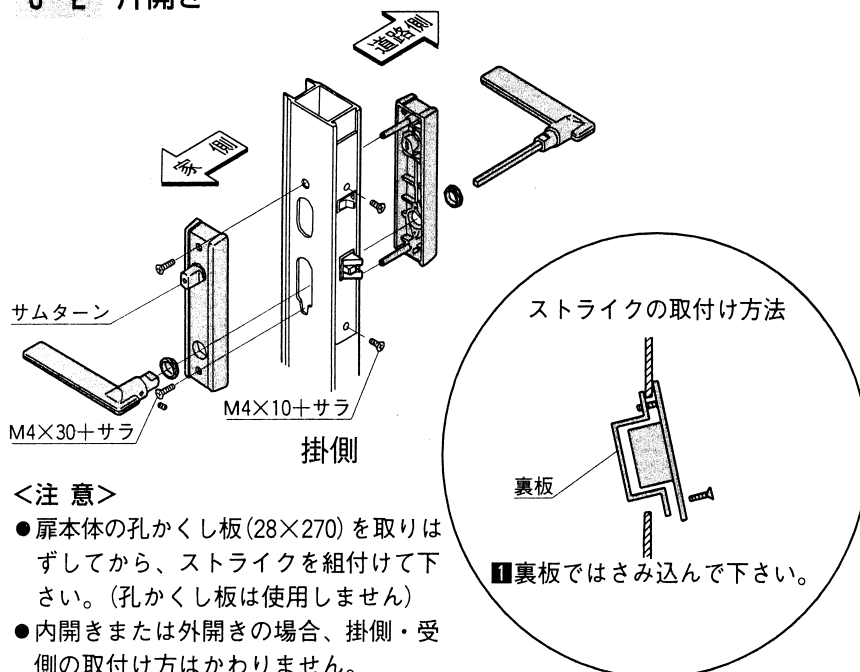
3-1 両開き



<注意>

- 扉本体の孔かくし板 (28×270) を取りはずしてから、ストライクを組付けて下さい。(孔かくし板は使用しません)
- 内開きまたは外開きの場合、掛側・受側の取付け方は変わりません。

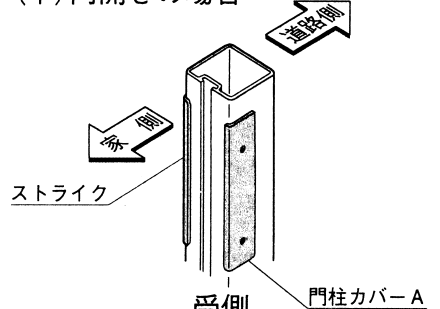
3-2 片開き



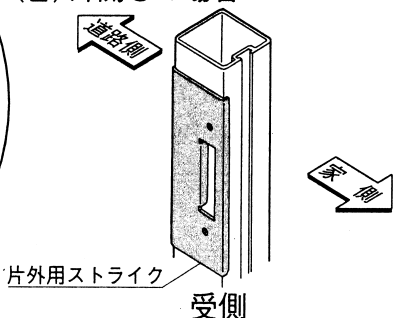
<注意>

- 扉本体の孔かくし板 (28×270) を取りはずしてから、ストライクを組付けて下さい。(孔かくし板は使用しません)
- 内開きまたは外開きの場合、掛側・受側の取付け方は変わりません。

(1) 内開きの場合

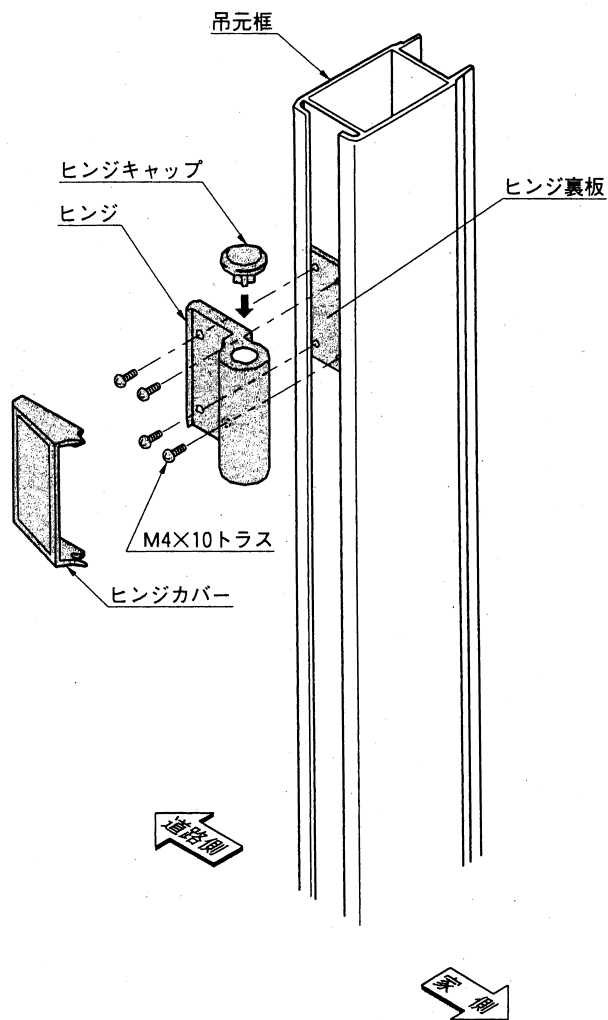


(2) 外開きの場合



4. ヒンジの取付け

4-1 内開きの場合



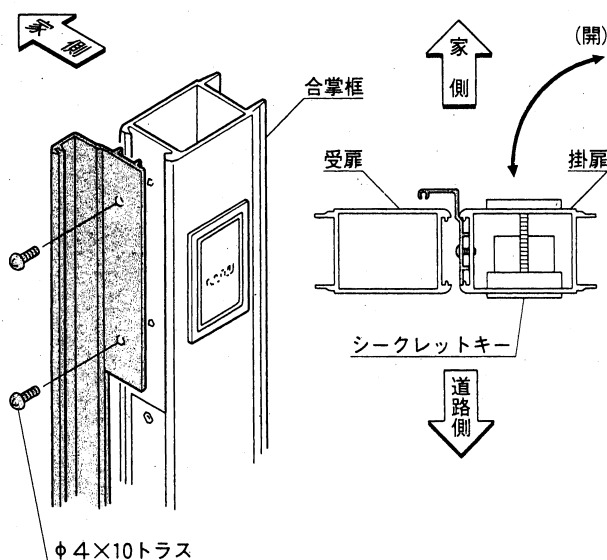
4-2 外開きの場合

■外開きの場合は、ヒンジを逆向きに取付けて下さい。

5. 戸当りの取付け

5-1 両錠、片錠・内開きの場合

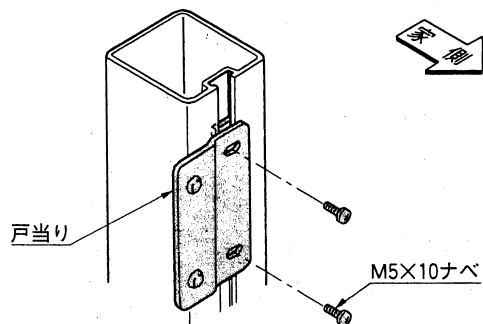
戸当り本体には、掛受・左右の区別はありませんので、向きを合わせて組付けて下さい。



<注意>

- 戸当りは必ず掛扉に取付けて下さい。

5-2 片錠・外開きの場合



<注意>

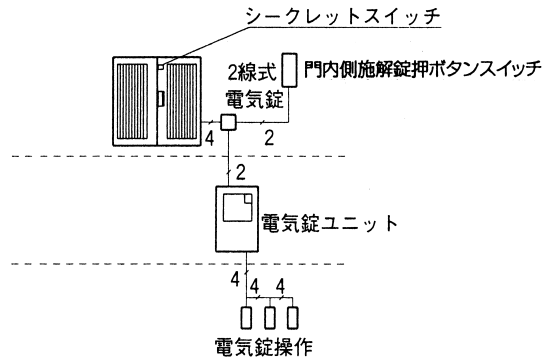
- 片錠・外開きの場合、本体に戸当りは付きません。

ここから先は、電気工事店様が行って下さい。

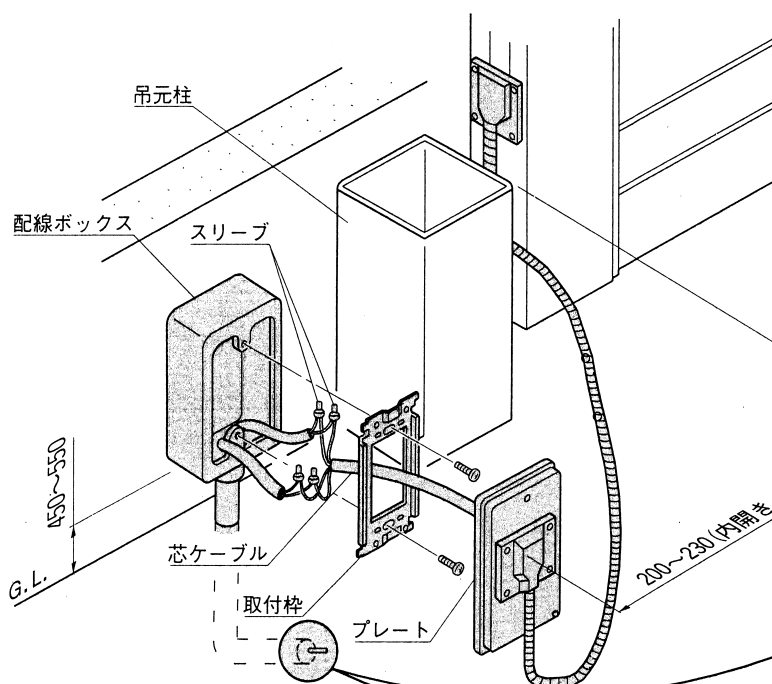
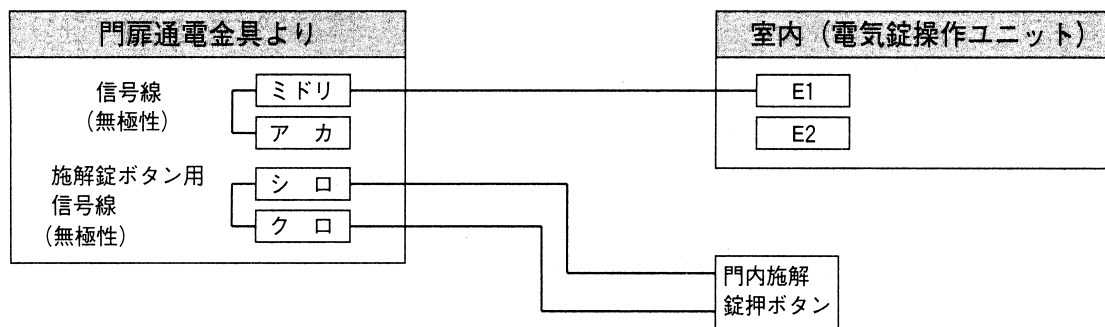
6.電気錠システム取付および接続方法

6-1 システム図

門扉に電気錠・シークレットスイッチを組み込んだタイプ



6-2 接続方法

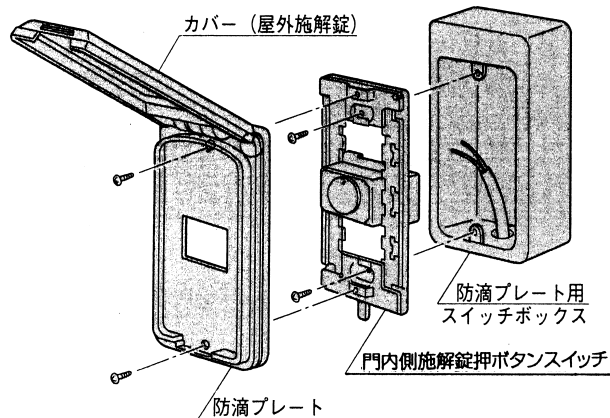


<注 意>

- 電気錠操作ユニット（および電気錠操作ボタン）、インターホン親機の取付け、接続方法等は、各室内機の取付説明書を必ずごらん下さい。
- コードの結線には必ずスリーブを使用して下さい。

室内へ
(ミドリ、アカ)
門内施解錠押ボタン
(シロ、クロ)

7. 屋外施解錠スイッチの取付方法



<注 意>

- 取付位置はG.L.より約1400mmにして下さい。取付位置は門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けて下さい。

配線距離

項 目	使用電線	
	0.5mm ² または0.8mm	0.75mm ² または1mm
操作ユニット～ シーケレットスイッチ	50m	50m
シーケレットスイッチ～ 門内側施解錠ボタンスイッチ	50m	50m

施工上のご注意

- 落雷時の器具破損や、誤動作を防止するために、家屋から通電金具までの配線は架空配線をしないで地中配線をして下さい。
- 門内側施解錠押ボタンスイッチおよび家屋から通電金具(4芯)までの配線および、増設する施解錠スイッチへの配線は100Vおよび200Vの配線と、接近して平行または交差させないで下さい。(平行させる場合には、50cm以上離して下さい。)また、押込配線の部分は100Vおよび200V電源とは別配管にして下さい。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んで下さい。
- 配管距離が長い場合、また、曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けて下さい。
- ハンドホール内で電線の接続は行わないで下さい。
- 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいで下さい。

工事店様へ

- 結線は必ず電気工事店様が行なって下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。硬化後、拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し願います。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

A156

1F-B①